

10/531463

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
[PCT 36 条及び PCT 規則 70]

REC'D 22 SEP 2005

WIPO

PCT

Rec'd PCT/PTO 16 DEC 2005

出願人又は代理人 の書類記号 PCT-AU-1	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/002780	国際出願日 (日.月.年) 04.03.2004	優先日 (日.月.年) 07.03.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ A61K35/74, 31/716, 7/48, 7/00, A61P1/10, 37/04, 17/16		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社アウレオ		

1. この報告書は、PCT 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>4</u> ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付されている。	
a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>1</u> ページである。	
<input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)	
<input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙	
b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。	
<input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見	

国際予備審査の請求書を受理した日 04.10.2004	国際予備審査報告を作成した日 07.09.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 大久保 元浩	4 C 8828
電話番号 03-3581-1101 内線 3452		

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2004 年 1 月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-17 ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2,3 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1,6-8 項*、02.03.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1/7-7/7 ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 4,5 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-3, 6-8	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1-3, 6-8	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-3, 6-8	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

- ・文献1: JP 2003-40785 A (コンビ株式会社) 2003.02.13 文献全体、請求項1, 3, 7、実施例1-3 & CN 1386510 A & KR 2002/89149 A
- ・文献2: JP 2002-238494 A (サンスター株式会社) 2002.08.27 文献全体、特許請求の範囲、【0030】-【0034】、試験例4,5 (ファミリーなし)
- ・文献3: JP 2001-323001 A (旭電化工業株式会社) 2001.11.20 文献全体、請求項8、試験例2 (ファミリーなし)
- ・文献4: WO 98/26787 A1 (ARNOTT'S BISCUITS LTD) 1998.06.25 文献全体、claims、p.2第4-12行、EXAMPLES & AU 9853961 B & JP 2001-506129 A
- ・文献5: JP 2002-531510 A (エヌ・ウイ・ヌートリフ) 2002.09.24 文献全体、請求項3、例4 & WO 00/33854 A1 & AU 2000/18966 B & EP 1137424 A1
- ・文献6: JP 2001-354570 A (一丸ファルコス株式会社) 2001.12.25 文献全体、請求項4、【0055】 (ファミリーなし)
- ・文献7: JP 2001-231589 A (株式会社ソフィ) 2001.08.28 文献全体、特許請求の範囲 (ファミリーなし)
- ・文献8: JP 1-137990 A (第一糖業株式会社) 1989.05.30 文献全体、特許請求の範囲 (ファミリーなし)
- ・文献9: JP 61-146192 A (篠原智) 1986.07.03 文献全体、特許請求の範囲、p.1右下欄 (ファミリーなし)
- ・文献10: JP 10-310515 A (三枝智子) 1998.11.24 文献全体 (ファミリーなし)
- ・文献11: JP 62-205008 A (株式会社バイオ・パイ・ダイマル) 1987.09.09 文献全体 (ファミリーなし)
- ・文献12: JP 2001-48796 A (株式会社アドバンス) 2001.02.20 文献全体 (ファミリーなし)

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

- ・ β -1, 3-1, 6-グルカンを含む培養物として、特にアウレオバシジウム属微生物由来のもの、

かつ、

- ・ 乳酸菌体として、特に加熱殺菌された乳酸球菌エンテロコッカス・フェカリス菌体であるもの

を併せて有効成分とすることにより、便秘改善、免疫賦活、皮膚保湿等の生理活性作用において有効である他、出願人側が答弁書の比較実験データで示したような優れた乳酸菌体の均一分散性を示す β -グルカン含有組成物が得られることは、国際調査報告で引用した上記文献1-12のいずれにも記載されておらず、かつ、これらの文献から当業者にとり自明なことであったともいえない。

請 求 の 範 囲

1. (補正後) アウレオバシジウム属 (Aureobasidium sp.) に属する菌を培養して得られる β -1, 3-1, 6-グルカンを含む培養物と、加熱殺菌された乳酸球菌エンテロコッカス・フェカリス (Enterococcus faecalis) とを有効成分として含有することを特徴とする β -グルカン含有組成物。

2. 前記アウレオバシジウム属 (Aureobasidium sp.) に属する菌は、アウレオバシジウム プルランス M-1 (Aureobasidium pullulans M-1) (FERM BP-08615) である請求項1記載の β -グルカン含有組成物。

3. 固形分中に、前記培養物を β -1, 3-1, 6-グルカン換算で1~80質量%含有し、かつ前記乳酸菌菌体を4~95質量%含有する請求項1又は2記載の β -グルカン含有組成物。

4. (削除)

5. (削除)

6. (補正後) 請求項1~3のいずれか一つに記載の β -グルカン含有組成物を有効成分として含有する便秘改善剤。

7. (補正後) 請求項1~3のいずれか一つに記載の β -グルカン含有組成物を有効成分として含有する免疫賦活剤。

8. (補正後) 請求項1~3のいずれか一つに記載の β -グルカン含有組成物を有効成分として含有する皮膚用保湿剤。